

のみにて散會せり。會社は二十八日迄に復業申込者中十四名と無通告者二十餘名を除名せり。而して二十八日無通告者は復業せる三百餘名を紡織労働組合より除名したり。かくて組合は事實上潰れ問題は茲に終結を告げたり、

慘敗は素より再罷工の日に期せられたれど、かくも、脆からんとは想像せざる所にして應援團體亦太く失望せり。

## 二十 押上支部全滅す

二十八日紡織労働組合押上支部は自ら死を宣告せり。則ち復業者三百餘名を組合より除名し押上支部の名は僅かながら存置するに決したり。女工は屈服せるに非ず復業を申込めるに非るも、最早女工の會員に對し如何とも爲し難く共濟金の殘存約一千圓を組合員には十圓準組合員には各五圓づゝ分配して名殘を告げ、各労働組合又は特志者より罷工資金として寄附せる八百餘圓は分ちて友愛會本部と、労働組合同盟會に寄附し、維持金五百餘圓は友愛會本部に保管を託し、罷業殘務を打切り、二十九日神田青年會館に慘敗報告演說會を開きたり。

押上支部は實質上殘存せざるに到り、富士紡押上工場に一人の友愛會員を見ず、罷業十三日間に紡織聯合會の支柱は倒れ七年の歲月を以て扶植せる勢力は根柢より覆れり。友愛會はかくして不幸なる豫感の如く押上支部を失へり。而して婦人部の存立是に依つて危し。

大正八年度友愛會大會は理事制を採用すると共に婦人部を創設し二名の婦人の理事を出だせり。而して婦人理事山内みな女は東京モスリンの女工なりしが昨年十一月彼女の契約期限満期と共に會社は頑として其契約の更新を拒みて彼女を追へり。殘る婦人理事野村つちの女は富士紡の模範女工たり。其の理智性に富むこと女工中に比を見ずとせられ紡織労働組合も亦彼女を擧げて常任理事としたり。二十八日押上工場は彼女と其僚友榊原その、菊池つねに對し除名を宣告したり。婦人部は今や二理事と千五百の會員を此慘敗に依て失へるなり。友愛會の打撃實に大なりと云ふべし。

労働運動者は此罷業に於て問題を與へられたり。紡織労働の如き原始的統制を受くる産業の労働者も指導の如何に依りては「五日も續くだらうか」と云ふ蔑視的豫期に反し十有三日に涉りて鬭争に従事したるため、彼等と雖階級鬭争の伴侶たり得べしとなす是第一なり。今回の罷業は労働者が經濟的絶對絶命の屈服とすべく餘りに多くの資金を有したり。而も炊出しの用意は職工の家庭にまで及びたるが、炊出しを家庭に及ぼすべきを要求したる者、急に軟派に與せしもの、組合資金の分配を要求せしものは悉く比較的餘裕ある職工なりしことなり。若干の貯蓄を有する職工と熟練工ほど鬭力力の貧弱なることを痛感したること其第二なり。

罷工の終結近づくに及んで「麻生さんや棚橋さんは罷工に負けても誠首はされぬが俺達は明日から